

市政に対する一般質問

(令和8年6月17日)

◎質問1番

8番 内山 博 志

1 会計年度任用職員の待遇改善、地元企業雇用促進策について

- ① 当市の正職員と会計年度任用職員を見たとき同一労働同一賃金・均等待遇の現状についてお考えを伺います。
- ② 当市の実質的平均任用期間は、6年6月です。会計年度任用職員はフルタイムで働かなければ退職金制度の適用になりません。格差を解消し、魅力ある職場にするために、給与表や一時金の見直し、専門職の加算上限見直しなど待遇改善を進めるべきではないか。
- ③ 地元中小企業に戻って就職する場合や市内に就職する場合に就職援助金など検討すべきではないか。

2 市民の移動手段を保障するために

- ① 「イコテ」の今後の範囲拡大の計画と見通しについて現段階の状況を伺います。
- ② 交通に不便を来している高齢者への対応でタクシー券の交付やシルバーパス制度導入など検討すべきではないか。

3 ホルムズ海峡封鎖による物価高騰、資材不足の対応について

- ① 今回の物価高騰、資材不足の影響についてのご認識を伺います。
- ② 国への緊急支援要請とともに、市としても施策を予定通り実施するため受付期間の変更や経費負担の軽減に利子補給、燃料代補助など支援策を早急に取り組むべきではないかと思いますがお考えを伺います。

◎質問2番

14番 久保田 陽 一

1 中越大震災復興記念祭の成果と今後の持続可能な観光・経済戦略について

- ① 2024年8月の中止から本年4月19日の展示飛行までの経緯と苦労、そして宮崎市長の率直な感想。
- ② 展示飛行終了後のSNS等の反応や、小千谷市にどのような声が寄せられたのか。
- ③ 中越大震災復興記念祭が果たした役割と成果、反省点や課題は。
また、復興記念祭を通じて小千谷市民の防災意識や地域愛着（シビックプライド）に変化等は感じられたのか。

そして、小千谷を訪れた多くの方々を歓迎したのぼり旗にも掲げられた「再挑戦を応援するまち小千谷」というストーリーを今後どのように磨き上げ、市外県外へ発信していくのか。

- ④ 記念祭を機に訪れた市外・県外からの来訪者に対し、リピーターになってもらうための継続的な情報発信（SNS活用やファンクラブ的アプローチ）が必要では。また、来場者に関するビックデータを解析し、観光や経済に活用すべきと思うが見解は。

「おちやアフターブルーインパルス展示」と題して市内のチェックポイント（6機飛行したので6か所くらい）にポスターや展示物を置き、その写真を撮り全て集めてきた人にのぼり旗をお渡しするなど、再度小千谷市に来てもらう施策等も今後必要では。

- ⑤ 「天空のひまわり畑」の実績をベースに、雲海や菜の花、そばの花などと組み合わせた早朝・夜間のアクティビティ（星空観測、朝ヨガ、おちゃ〜る等の活用）の整備が必要では。また、市民協働での美化・維持管理活動を「地域参加型ツーリズム」として仕組み化し、観光客と市民が交流できる場としての価値を高めるべきでは。

- ⑥ 観光客の移動動線や購買データを分析し、ターゲットに合わせた効果的なクーポン配布や店舗への誘導を行うデジタルマーケティングを推進すべきでは。

また、キャッシュレス決済の普及と、市内複数店舗を回遊したくなる「周遊スタンプラリー」や「周遊クーポン」の仕組みづくりが必要では。

宿泊施設、飲食店、土産物店がバラバラにデジタル化するのではなく、市全体で共通のプラットフォームを活用する考えはあるのか。

- ⑦ 観光客が小千谷に1泊することで、いくら地域に還元されるのかという指標を設けるべきではないか。観光客は単なる「入込客数」ではなく、「観光消費額」をKPI（重要業績評価指標）として据え、宿泊事業者・飲食事業者と連携した「稼ぐ観光」の具体的なロードマップをどのように描いているか。

- ⑧ 記念祭で来市した層を、ふるさと納税の寄付者や「おちやサポーター」として囲い込み、イベント時だけでなく、平時にも小千谷産の名産や農産物などが継続的に届く定期便など、[おちやファンクラブ]と連携強化し、ふるさと納税寄付額の増加、そして小千谷市を訪れる観光客等の増加へつなげるべきでは。

◎質問 3 番

1 6 番 田 中 淳

1 電源三法改正について

東京電力柏崎刈羽原発（新潟県）から 5 ～ 3 0 キロ圏内の U P Z （避難準備区域）にある本市を含む 7 市町が本年 4 月 1 4 日に新たな協議会を発足させたとの報道があり、その内容や取り組みについて以下質問するものです。

- ① 7 市町で新たな協議会を立ち上げる狙いは何か。
- ② 電源三法の改正に向けての全国的な動きについて。
- ③ 電源交付金についての配分について 7 市町の足並みはそろっているのか。近年の交付金配分金額もあわせて伺います。
- ④ 当市の令和 8 年度予算には「原子力発電施設等立地地域の振興に関する特別措置法」に基づく自治体向けの財政支援対象変更による国の補助や地方債への交付税措置は盛り込まれているのか。

2 農作物の渇水対策と農業振興策について

近年の水稻に対する高温対策として消雪パイプ井戸や給水車の活用、国県の高温障害対策支援事業によるため池の改良事業や新規井戸の掘削事業などのハード事業。

また、極早生品種の導入など農業振興に対しての取り組みを質問するものです。

- ① 季節井戸の利用においては、設置者管理者との協議も必要と思うが、利用に向けての状況はどうなっているのかお聞きします。
- ② 渇水対策支援事業における市の負担割合についての考え。
- ③ 農作物の今後の見通しを含め、高温障害による米の品質低下対応策についての考え・施策をお聞きします。
- ④ 農作物の品質確保のためには土壌の成分調査も大切な要素ではないかと考える。デジタル土壌図の活用はされているのでしょうか伺います。
- ⑤ 極早生品種の取り組みが加速しておりますが、価格を含め需要状況をお聞かせ願います。

◎質問 4 番

2 番 佐 藤 勝 義

1 未来づくりアンバサダーの現状と今後について

- ① 市ホームページの「わたしの一歩として取り組んだこと」フォームには、どのくらいの人が活動事例を入力されているのでしょうか。

また、その中には「まちの未来づくりに向けての市民のアイディア」

に関して、小千谷市として取り入れたい、または検討をされているものはあるのでしょうか。

- ② 子供達が企画したイベントを応援するような取り組みとして、現在導入されている市民協働支援補助金のように、子供達が自ら創り出すイベント応援事業なども取り入れてみてはどうか。

- ③ 未来づくりアンバサダー登録者において市内外の比率は。

また、新たに「おちや未来アンバサダー企業登録」の働きかけもしてみてはいかがでしょうか。

- ④ 未来づくりアンバサダーバッチの作成をし、アンバサダーに付けてもらうことを提案いたします。

それに伴い、活動の一貫としてデザインも市民から募集することも考えてみてはいかがでしょうか。

- ⑤ 市民団体が企画するイベント時、シャトルバスの運行利用も選択肢とできる「イベント開催時のシャトルバス補助金」などを検討してみてはいかがでしょうか。

◎質問5番

10番 住 安 康 一

1 子育て環境の充実について

- ① 5歳児健診の導入について

当市では5歳児健診を実施していない。就学時健康診断が実施されているが、目的や健診時期、健診項目や内容などに違いがある。子供の特性の早期発見や適切な支援につなげるためにも、5歳児健診を実施すべきでは。見解を伺います。

- ② 先天性心疾患の早期発見のための胎児心エコー検査に対しての補助について

2 熱中症対策としての学校施設および公共施設への冷水器設置について

- ① 熱中症対策のため、学校施設および公共施設、特にクーリングシェルター（指定暑熱避難施設）には冷水器の設置、できればボトル給水型冷水器の設置が必要でないか。見解を伺います。

◎質問6番

6番 平 澤 智

1 西脇順三郎賞について

- ① これまでの4回の開催を通して、振り返りとして募集方法、表彰方法に課題はなかったか、伺います。

- ② 「ふるさと賞」については一般の人にもふれる機会があっても良いのでは、と思いますがご見解を伺います。
- ③ 「文化の香り豊かなまちに。」を实践してゆく中で、今後更に活況を呈するコンクールとなることを祈念しておりますが、ご見解を伺います。

2 スポットワーク制度の実現可能性について

- ① 当市においての求職側、求人側のニーズの把握について、ご見解を伺います。
- ② 以前の一般質問では、単日、短時間を想定したマッチングプラットフォーム等の導入は難しいとのことでしたが。現状はどうなのか。当市としてのご見解を伺います。
- ③ 都会と違い地方でのスポットワークに関しては信用度の問題が強いと考えますが見解を伺います。

市政に対する一般質問

(令和8年6月18日)

◎質問7番

11番 駒井和彦

- 1 市長の政治姿勢と2期目への出馬の是非について
 - ① 市長は今年11月の市長選挙において、2期目への挑戦に向けた力強い決意をお持ちであるか、その真意と進退の是非について
- 2 持続可能な地域インフラの維持と「物流・建設の2024、2025年問題」への対応について
 - ① 当市における冬期の安定的な除雪体制維持に向け、建設業者等の労働環境変化を踏まえた現在の課題認識と、中長期的な体制維持のシミュレーション、また、担い手確保に向けた業者への具体的な支援策について
 - ② 物流・建設コストの上昇に伴い、市発注の公共工事において、入札不調のリスクや工期の長期化、ひいては当市財政の圧迫等の影響が生じていないか、現状と今後の見通しについて
 - ③ 一次産品、特に当市が誇る「魚沼産コシヒカリ」や、世界に誇る「錦鯉」等の輸送コスト上昇に対し、関係機関と連携した実態把握や、地場産業を守る為の市独自の支援策の検討状況について。
- 3 佐渡島の金山世界遺産登録を見据えた、当市観光の「点から面への広域連携」について
 - ① 両市の連携協議の内容、そして今後の事業展開の具体策について。
 - ② 当市の伝統文化や産業を、高付加価値な「体験型コンテンツ（プレミアムツアー等）」として昇華させ、一時的な来訪にとどまらず地域経済に直接お金が落ち、還元される仕組みづくりについて
- 4 記録的猛暑・気候変動に伴う、当市農業の適応策と市民の安全確保について
 - ① 近年の高温障害による米の品質低下や野菜への生育影響を防ぐ為、スマート農業（水位・水温の自動管理システム等）の導入支援や、気候変動を見据えた高温耐性品種への転換促進に向けた、市のビジョンと具体的な支援策について
 - ② 市内クーリングシェルター利用の現状と、今後の課題、改善点等について伺うと共に、特に高齢者や子どもを守る為の市独自の熱中症対策について
- 5 第六次小千谷市総合計画「おちや未来ビジョン」の策定と起業家育成支援事業の連動について

- ① 現在進行中の起業家育成支援において、採択された、或いは今後生まれるビジネスモデルが、本市の抱えるリアルな課題（空き家問題、買い物難民、事業承継等）の解決にどう寄与していくのか、本市としての伴走体制と期待する効果について
- ② チャレンジできる魅力的な環境を市内に整える事で、若者や女性が「働きがい」を感じて市内に定着し、またUターン・Iターンとして還流していく為の、具体的な目標値（K P I：重要業績評価指標）等や将来のビジョンについて

◎質問 8 番

1 3 番 佐 藤 隆 一

1 小千谷市の未来像について

① みんなの一步で未来づくり大作戦について

市長は常々「みんなの一步で未来づくり大作戦」とのべています。3万人の市民に具体的な行動として呼びかける場合は、内容を示すことも大切ではないかと思います。市長の呼びかけですからどのように受け止めていいのか、もう少し踏み込んで市長の思いをお聞きしたいのですが、如何でしょうか。

2 市のごみ処理事業について

① 市の人口減少が止まりません。しかし、近年排出するごみの量が増えています。一方で、資源ごみは、減少しています。小千谷市はリサイクル資源の買い入れ価格を2円→1.5（kg当たりごみ）に引き下げしましたがリサイクル資源が減少した点について、どのように考えているのかお聞きいたします。

② クリーンスポット大原の最終処分場への埋め立て量は近年増加しています。リサイクル率を飛躍的に高めることによって「ごみ0」を目指す、環境田園都市としての小千谷市の存在感を高めていくことが必要ではないでしょうか。市長の率直な思いをお聞きいたします。

◎質問 9 番

1 番 廣 井 良 宣

1 橋梁の修繕について

- ① 早期措置段階の修繕計画実施見通しについて
- ② 予防保全段階の修繕計画実施見通しについて
- ③ 技術者不足に対する対応について
- ④ 市と住民とで優先順位等の将来像を考える場について

⑤ 旭橋について

- ・定期点検結果（Ⅰ～Ⅳ判定）について
- ・市としての情報提供や課題要望について
- ・影響評価や代替ルートの検討について
- ・県と連携しての情報提供について

2 がん検診歴の把握について

- ① 職域検診のがん検診情報が把握できない状況について
- ② 職域検診のがん検診情報把握の重要性について
- ③ がん検診情報の一元管理等に対する準備や対応について
- ④ 医師会や企業との情報連携について

◎質問 10 番

3 番 和 田 忠 篤

1 おちや未来ビジョン「おちやの想い」について

- ① 人口減少を踏まえ、基本構想で最も見直すべきまちづくりの課題について
- ② 「おちやの輪」において、市が最も課題が大きいと見るつながりについて
- ③ 「未来づくりアンバサダー」への登録を出発点として、市民の継続的な活動につなげていくための課題について
- ④ 若い世代の定着に向けた「はたらく」の位置づけについて
- ⑤ 4つのライフステージを横断して進めるための庁内の推進体制と進捗管理について
- ⑥ 出生数141人を踏まえた、若い世代の働き方や暮らしの環境に対する認識について
- ⑦ 社会減の要因として、市が職業以外に重く見ている課題について
- ⑧ 子育て世代や若者などへの情報提供と参加機会の確保について
- ⑨ 人口減少対策における「小千谷のまちの総合力」の判断基準について
- ⑩ 基本構想が市民生活に届き始めていると判断する変化について

◎質問 11 番

12 番 森 本 恵理子

1 市政運営について

- ① 一期四年間の市政運営について
- ② 今後の市政課題と政策の優先順位について
- ③ 今後の市政運営に対する市長の所信について

2 歴史文化資源の保存と活用について

- ① 小千谷市の歴史文化資源の価値認識について
- ② 遺跡調査の成果と今後の保存・活用について
- ③ 地域資料のデジタルアーカイブ化について
- ④ 文化財保存活用地域計画と歴史資源の位置づけについて
- ⑤ 西軍墓地の保存継承と歴史資源活用について
- ⑥ 文化財行政を支える人材と体制について